

山陰放送

活動名	BSS 山陰放送見学、出前講座
実施期間	令和 7 年 7 月～令和 8 年 2 月
実施回数	学校訪問 4 回、社内見学時 1 回

【実施学校】 米子市立加茂中学校、日南町立日南小学校、米子市立箕蚊屋小学校、
米子市立義方小学校、米子市立崎津小学校

【事業実施の成果・課題】

「小学校授業支援 事業」に則った取り組みは、今回が初めて、もしくは久方ぶりでしたが、弊社独自に、小学校のみならず、中学、高校および公民館等での授業、講演は重ねてきましたので、そのノウハウを生かすことが出来ました。例えば、一方的になることなく、折々こちらから質問したり、手を挙げてもらったり、最後に質問コーナーを設けたりと、やりとりをしながらの進行であるとか。

事業を通じて、放送局のこと、メディアのこと、情報のことなどを知ってもらうとともに、地元にある BSS 山陰放送のことをより身近に感じてもらえたかと思います。

逆に、普段はスタジオの中でマイクに向かっているアナウンサーとしても、子どもたちの表情や反応を見ながらの時間が、一つの大切な学びの場であると感じます。

さらには、局のアプリ、radiko や Tver 等についても紹介するいい機会となっています。

課題としては、事業を進めるにあたって、実施報告書を回覧するなどのはしたもの、結果として、講師を務めたのはベテラン勢のアナウンサーで、部署での情報共有が希薄であったという点です。まずは、事前にミーティングなどを実施することでの情報共有、内容の検討。

その上で、中堅や若手も一緒に出向き、そのノウハウを受け継いでもらったり、より若い視点も取り入れたり出来たらと思います。

そして、事業を実施するにあたって、単年度の実施報告書のみならず、各局のこれまでの実施内容をまとめたアイデアの共有、民教協と各局の担当者などが参加するリモートでのミーティングを開催していただけると、事業の幅がより広がると思います。

【事業担当者・講師の感想】

- ・お話や体験を通じて子供たちの目がきらきらしていたのが印象的でした。
- ・多くの児童が将来の夢を持っていて、真剣に聞いてくれました。最後に教室を後にするとき「お話を聞いて、アナウンサーになりたいと思いました」と話しかけられ、一瞬にして疲れが吹っ飛び、「言葉の力」も実感しました！
- ・言葉についての情報をやりとり、共有している J 系列の用語チャットスペースでちょうど話題となっていた「塩味」の読み方について、ホワイトボードに漢字を書いて何て読むか尋ねたところ、間髪を入れずに「えんみー！」とほとんどの児童が元気に返してくれるなど、今の子どもたちのことを知る機会にもなりました。
- ・普段、社会科に放送局の仕事という単元がある小学 5 年生への授業が多い中、6 年生を対象としてみて、1 学年の差で理解度がここまで違うんだということを実感しました。自分の子育てのときには日々子どもたちと接していて、長い目で見てその成長を感じていましたので。

【教諭・子どもたち・視聴者などの感想】

- ・去年の講演が好評で、今年も来ていただき感謝している。地元のアナウンサーが学校に来てくれて大変うれしいです
- ・実際に放送に携わっている方のお話は具体的で説得力が違います
- ・お話の仕方や子どもたちとのやり取りなど、今後授業をする上での参考になりました
- ・授業のあとに、発声練習など講師の教えてくれたことを真似するなど盛り上がりました
- ・ラジオ番組で学校のことが紹介された部分を radiko のタイムフリーを使って教室で聴かせていただきました
- ・クロマキーが面白かったです
- ・アナウンサーの発声練習の声の大きさにびっくりしました
- ・情報といっても、本当にいろいろなことがあるんだなと知ることが出来てよかったです
- ・今日話を聞き、アナウンサーになりたいと思いました
- ・これからラジオも聴いてみようと思います